

ILASセミナー：理工系アートのススム(2)

- 5) アート思考と社会との関係性
ー社会における新しい価値創造
- 6) アート・アクティヴィズム
ーグローバルな可能性を秘めたソリューション
- 7) アート思考で新しい価値を設計する

[履修要件]

アートや映像に興味があること、コンピュータを使って作品を作成することに関心があること、emailを送受信できる環境を持ち、自分のコンピュータを持っていること。

[成績評価の方法・観点]

作品課題、平常点、レポート。試験はしない。詳しくは授業中に指示する。

[教科書]

土佐尚子『TOSA RIMPA』（淡交社）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

（関連URL）

<http://tosa.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

[授業外学修（予習・復習）等]

予習は、教科書の指定ページ、また事前の授業で指定した参考資料を読んでおく（30分）
復習は、授業中に指定した作品制作を行う。（1時間）

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワー 授業終了後 18時～19時 tosa.naoko.5c@kyoto-u.ac.jpへ連絡をしてアポイントメントを取ること

[主要授業科目（学部・学科名）]